

北九州憲法ネットニュース

2007年1月29日(月) 第20号

発行 九条の会・北九州憲法ネット
803-0817 北九州市小倉北区田町13番21号田町ビル3F
Tel & fax 591-5522 E-mail⇒mail@kitaq-kenpou.net
URL⇒http://kitaq-kenpou.net/

新年のご挨拶 憲法「改正」は許さない！

九条の会・北九州憲法ネット座長 荒牧啓一

新年おめでとうございます。

安倍首相は年頭の記者会見で、憲法「改正」の実現を首相在任中にめざすことを公言しました。そのために、通常国会で「国民投票法案」の成立をめざしています。私たち九条の会・北九州憲法ネットは、このことに真正面から対決しこれを許さない闘いをこの一年全力で奮闘する決意です。

2月25日の坂本修憲法講演会をその弾みにし、お互い頑張りましょう。

新年のご挨拶

九条の会事務局長 小森陽一

新しい年2007年は、日本国憲法が施行されて60周年です。一人ひとりの個人が、この国の主権者となってから還暦をむかえるにいたった歴史を、本当に実らせる年にしたいと思います。そして、全国に広がった「九条の会」の運動にこそ、この国の内実があることを、はっきり示していきたいと思います。

なぜなら、2006年は、憲法を改悪しようとする勢力が行ってきたことが、すべて虚であることが明らかになったからです。耐震偽装問題、ライブドア問題、日銀総裁までが絡んだ村上ファンド問題、郵政民営化造反議員の自民党復党など、すべての事件は、私的利益のために、うそとそらごとを積み重ねた結果起きたものです。小泉純一郎政権の5年間は、「構造改革」という中身のないうつろな言葉の背後で、徹底した国民生活の破壊を行い、とめどのない格差拡大社会にしまいました。また、この5年間、アメリカのブッシュ政権が進めてきた「テロとの戦争」が、うそでぬり固められた国際法違反の無法な殺戮であることが、当事者も認めざるをえない形で明らかになったのも2006年でした。北朝鮮の核実験に対する国連安全保障理事会の決議は、「兵力を用いない」(国連憲章第41条)平和的な外交交渉で問題を解決する制裁決議を全会一致で採択しました。国際社会は、日本国憲法9条の心にこそ、国際紛争を解決する、最も現実的な力があることを選びとりはじめているのです。しかし、安倍晋三政権は、こうした世界の流れに逆行する、9条2項を抹殺し、自衛隊を「自衛軍」にする「新憲法制定」を今年の一斉地方選、参院選の争点にすると、2007年年頭に表明しました。これほど憲法、とりわけ9条の問題をめぐる対決点が明確になっているからこそ、私たちの草の根からの運動の出番なのです。一人ひとりがやれるあらゆる行動を通じて、主権者の実力を発揮していきましょう。

2007年1月

2月25日坂本修憲法講演会を開催！

憲法公布60周年の節目の今年、憲法をめぐる情勢はかつてない事態となっています。こうしたなかで1月19日、9条の会・北九州憲法ネットの代表世話人・事務局合同会議を開き、情勢と当面の取組を論議しました。自民党・公明党政権が、改憲の動きを強める中、これに対抗して、憲法を守る運動の強化が急がれています。合同会議ではこのため、2月25日(日)に、前自由法曹団団長・弁護士坂本修氏を招き、憲法講演会を開催する事を決めました。

演題は「憲法『改正』をめぐる情勢と闘いの展望」です。この講演は、必ず、私たちに励まし確信を与え、運動の前進に大きく貢献するものと確信しています。またこの日は、今話題のドキュメント映画「戦争しない国 日本」(短縮版)も上映します。北九州市では初公開です。ご期待下さい。

日時は、2月25日(日)14時開演、場所はムーブ2階大ホールです。資料代として500円が必要です。たくさんの方々に誘って成功させましょう。

わかまつ9条の会が憲法談義

わかまつ9条の会が18日夕、若松区本町浄土真宗本願寺派極楽寺で「憲法談義」を開催した。講演したのは東八幡教会の藤田英彦牧師。御本尊を背に異教の藤田牧師が話したのは、「キリスト教の戦争責任」。この画期的な企画に仏教徒、キリスト教徒、無宗教の市民ら100人が集合した。

藤田牧師は開口一番「改憲論者」を切り出し、本堂は「エッ！」と驚いた。すかさず「第1章」のことだと続けたので、ホッとした空気が流れた。牧師作製の「明治維新以降の信教の自由に関する年表」を配布して、国家神道を中心とした絶対主義の確立経過を解説。切支丹禁制の中でキリスト教が民権運動と一緒に市民権を得る為に行動したという。注目すべきは明治15(1882)年に軍人

勅諭が發布されると、キリスト教が蔓延するのを恐れて兵士に神道を説いたのを廃して、仏教の教えを説いたという点だ。さらに大正14(1925)年に宗教法案が治安維持法改悪と共に発表される。「宗教は常に戦争に利用されてきた」と言う通りだ。

藤田牧師は信教には「信じる自由」「信じない自由」があること。内面の自由を誰も犯すことはできないものであることを淡々と述べ、「自分の言葉で反対の意見を持つ自由が成人化社会であり、自分の考えを言う訓練が必要」と述べた。

又、キリスト教会が戦後、進駐軍のラウ物資は教会を通じて配布されたことなどをあげ、戦後、憲法の第1章についてのキリスト者の反発はあったが、「軍国主義から解放された」という意識で、「キリスト者は戦争責任は追及してこなかった」と述べた。「あきらめる」は「あきらかに見ること」と言葉の意味を言い、「この国に思想、良心、信教の自由はあるのです」としめくくった。

講演会のあと、極楽寺さんのご好意でおでんパーティを新年会を兼ねて行った。キリスト教徒の方や「いつ入会したらいいかわからなくて」という方が入会するなどそれぞれの困難な年明けの思いを語った。まさに思想信条は違っても「平和を守る・9条を守る」思いを熱いおでんと共に



浄土真宗極楽寺で講演する八幡協会の藤田英彦牧師

ひとつにし、体の奥が熱くなった夜だった。

わかまつ九条の会 藤本 修子

曽根9条の会からの報告

北九州の九条の会の皆さんへ

曽根・九条の会の現状をお知らせします。昨年このニュースにも載せていただきましたが、11月23日に結成総会を開いた、その後をお伝えします。今も、毎週月曜日の夜7時より、曽根市民センターにて、例会を行い、昨年12月より、ブックレット「武力で平和は創れない」(副題:改憲必要論についての私たちの見解、編集:市民意見広告運動)を使って勉強会を開いています。これまでに、「非武装で侵略されたらどうするのか」、「北朝鮮のテポドンや中国の軍拡に備えるのは当然ではないのか?」「戦後日本の平和は、九条ではなく

安保体制のおかげではないのか?」「テロが頻発しているのだから、テロ対策は必要ではないのか?」について、読みあわせをしました。テレビや新聞でもよく見聞きするこうした疑問の一つ一つを真正面からとらえ、それらに対する見解・反論を丁寧にまとめています。この本のおかげで、例会での参加者の発言も積極的になり、しかも九条のことをより深く理解できるようになりました。次回の学習会をきめかねておられる方には、良いテキストだと思います。(曽根・九条の会事務局)

カンパ・メッセージありがとうございます。運動を更に活発にして、安倍内閣の憲法改悪の動きを必ず打ち砕こう!

引き続き財政へのご支援をお願いします。

1月 岩本昭三 野瀬秀洋 杉園友生 黒坂佳男 小野恂一郎 藤原洋子 来田時子 丹下徹 玉井史太郎 中荘俊 中川紘子 吉本まさ江 横山捨己

- ニュースいつもありがとうございます。活動内容がよくわかり私も参加したい気持ちがあるのに、他の用事と重なったり…言い訳っぽくてもうしわけありません。友人から会を発足して定例化して集まっている事(学習会)きくとうらやましいです。12/4 Y.M ●すみませんでした。卓上に多くの読みものが溜まりがちなので、憲法ネットからのニュースを読み遅れていました。ニュースとても励みになります。僅かですが送金します。12/5 K.M ●少しのカンパですすみません。12/6 A.M ●ほぼ二ヶ月入院していました。生きていく間にできるのか、考えさせられました。生きていく間の人生、せいっぱいがんばるしかありません。12/6 T.F ●九条の会の運動に励まされています。私も頑張ります。些少ですが… 12/11 丹下徹
- 九条の会の活動ご苦労様です。新しい年はさらに運動を強めましょう。12/13 O.M ●いつも小額ですすみません。年末カンパです。12/18 O.K ●お疲れ様です。些少ですがカンパ致します。12/28 N.Y ●わずかですすみません。12/29 A.M ●わずかですが、お役に立ててください。1/4 S.T ●少なくて申し訳ありません。1/11 F.Y ●貴会の活動に励まされています。私も頑張ります。些少ですが… 1/15 T.T ●三輪市長をぜひ実現したいものです。1月18日の極楽寺における「キリスト教の戦争責任」というクリスチアンの話を期待しています。1/16 T.F

平和憲法を改悪させてはならない。その強い意志のもとに結集したスタッフ・キャスト約百名で劇映画「日本の青空」はクランクインした。



現行憲法は、GHQ が身勝手につくって、日本に押しつけたという改憲論者たちがいる。法律に素人な軍人たちが、僅か一週間余りでつくった、粗製乱雑な憲法だという自主憲法制定論者たちがいる。本当にそうなのだろうか。私たちは一年半余り、入念に憲法制定過程を調査し、歴史的真相に基づいて脚本を練り上げた。そして、GHQ 草案が、在野の憲法学者・鈴木安蔵たち私的グループ(憲法研究会)による憲

法草案を重視し、参照してつくられた事実を確かめた。

“日本国ノ統治権ハ国民ヨリ発ス”

“天皇ハ国政ヲ親（ミズカ）ラセズ国家的儀礼ヲ司（ツカサド）ル” など、GHQが手本にしたことが関係文書によって明らかにされている。日本国憲法は、決してマッカーサーやGHQに押しつけられたのではなく、明治の自由民権思想や大正デモクラシーを受け継ぐ日本人がつくった日本の憲法である。このことを映画で示し、憲法問題に関心の薄い若者たちに伝えたい。いまこそ憲法を学び、暮らしに活かし、世界に輝かそうと。

そのために、スタッフ・キャスト一同、三月完成めざし懸命に頑張っています。乞うご期待！！

掲示板 各地での署名宣伝行動

わかまつ9条の会

2月9日(金)11時～12時 若松サンリブ前

折尾9条の会

2月9日(金)16時～17時 折尾駅前

小倉憲法ネット

2月18日(日)11時～12時 小倉駅前

皆さんの
参加を
待って
います！

護憲こゝむ いのちのすごさ

平和活動家として北九州では著名な井上義昭さんが昨年末に亡くなられた。77才だった。九条の会・北九州憲法ネット役員としても活躍された。門司区の居住地で、ハンドマイクを背負い、町の辻ついで、憲法・原水爆禁止などの平和擁護の訴えをされていた姿はいまも目に浮かぶ。井上義昭さんの後を受けて、後輩の活動家が、ハンドマイクを握り、町の中での活動を引き継いでいる。平和の運動のいのちは受け継がれた▼NHKテレビで、南極に住む皇帝ペンギンの生態の放映があった。マイナス60度の世界で、子

孫を残す営みを見せてくれた。卵を孵化させるのは雄。足元の袋の中に卵を包み、集団が身体を寄せ合い、「飲まず食わず」で寒さに耐える。感心したのは、群れの中の温まったペンギンが外のペンギンと交替し、これを繰り返す、みんなで寒さに耐えていたことだ。やがて、口の中に相方の雄の分の食物を蓄えた雌が海から帰ってくる。ペンギンのカップルの再会時の恍惚とした表情がまた感動を与える。そうして、やがて、卵がかえり、新しい生命が地上に誕生する▼日本でも、北の大地で、鮭が自分の生まれた川

を遡り、命を残していく。あの、壮絶ともいえる川の遡りを見るたびに、いのちのすごさを感じる。自然界のいのちの継承の姿は、私たちに感動と教訓を与える。私たち人間の社会の歪が、少しでも解消するように、今生きている、私たちが努力し、運動を続ける時、そこに、運動のいのちが宿り、継承されていくのだろう。ペンギンや鮭に学んで、人間もがんばれ。(盾)

